

企画・アイデア・作品を大募集!

徳大広報編集専門委員会では、読者の皆さんからの新しい企画・アイデア・作品等を次のとおり募集しています。

表紙デザイン・アイデア等

読者の方々の新たな発想による表紙のデザイン、アイデア及び作品(絵画・写真・コンピュータグラフィクスなど)など表紙として適当なものであれば何でもOK!

「キャンパスライフ」のテーマ・企画やボランティア

「キャンパスライフ」は学生の皆さんによる手作りのコーナーです。このコーナーは学生の皆さんと読者の交流の場とするため、学生の皆さんから徳島大学に関する様々な情報、大学への質問・要望などを広く募集し、掲載していきたいと考えています。また、若者の新しい発想や感性を生かし、楽しいコーナーとするためにご協力いただける方、ぜひご連絡ください。

投稿者募集

徳大広報は読者の皆さんの参加によって発行される広報誌です。

左記のコーナーで、本学の教職員はもとより退職された方、卒業・修了された方からの投稿をお待ちしています。

- ・「投稿コーナー」
- ・「一枚の写真」

徳大広報への応募、問い合わせ先

徳島大学総務部企画広報室

住 所 徳島市新蔵町2 24

TEL#088・656・7021 FAX#656・9965

E-mail koho@jim.tokushima-u.ac.jp

編集後記

今号の特集はFDです。期せずして、この原稿を作成している、まさに今日の午後、自分の担当している授業を素材としたFD応用プログラムの授業研究会が開催され、FDはまったく他人事ではないと身に沁みているところです。しかし、なんの因果なんでしょうか。締め切りから大幅に遅れて原稿を書いている報いでしょ(か)笑)。其れはさておき、さすがに教職員で「FD? 初めて聞いた」という方はいないでしょうが、恐らく学生さんの大部分は「フロッピー・ディスクのこと?」なんという感じだったことだと思います(徳大広報の特集がフロッピー・ディスクって言うこともないですけどね)。少なくとも私の周辺に居る学生さんたちに「FDって知ってる?」と訊いたときは、そんな反応でした。FDとは「教官の教育者としての資質向上、並びに大学の教育組織としての機能向上を目指した活動」ですから、教育をする側ではなく、教育を受ける側の学生さんたちのFDに対する認知が低いことも当然のようにも思われます。ですが、教育とは「する側 受ける側」とい

う関係ではなく、M・C・エッセイの『描きあう両手』のような自己創発的な関係で成立している協同作業だと考えるならば、学生さんたちにもFDは無関係な話ではないはず。現在は授業評価アンケートなどで学生さんたちの意見はFDに反映されていますが、学生さんたちが、FDの目的や教官たちのFDに対する取り組みを知った上で、その活動により積極的に関与する仕組みを見出すことが出来ればFDはより実りの多い活動になるのではないかと。今回の特集を担当して、また、自身でFDに参加して、そう考えました。今回の特集がそのような切っ掛けとなれば幸いです。(掛井)

次号予告

早いもので次号は4月号です。また新たな年度が始まり、フレッシュな新入生を迎えることとなります。ということで、次号の特集は「おいでなして徳島大学へ!」です。3年連続同じ特集タイトルですが、内容は毎年変わっています。新入生とまではいきませんが、毎号リフレッシュして頑張っています。

次号徳大広報No.22は平成15年4月1日発行です。